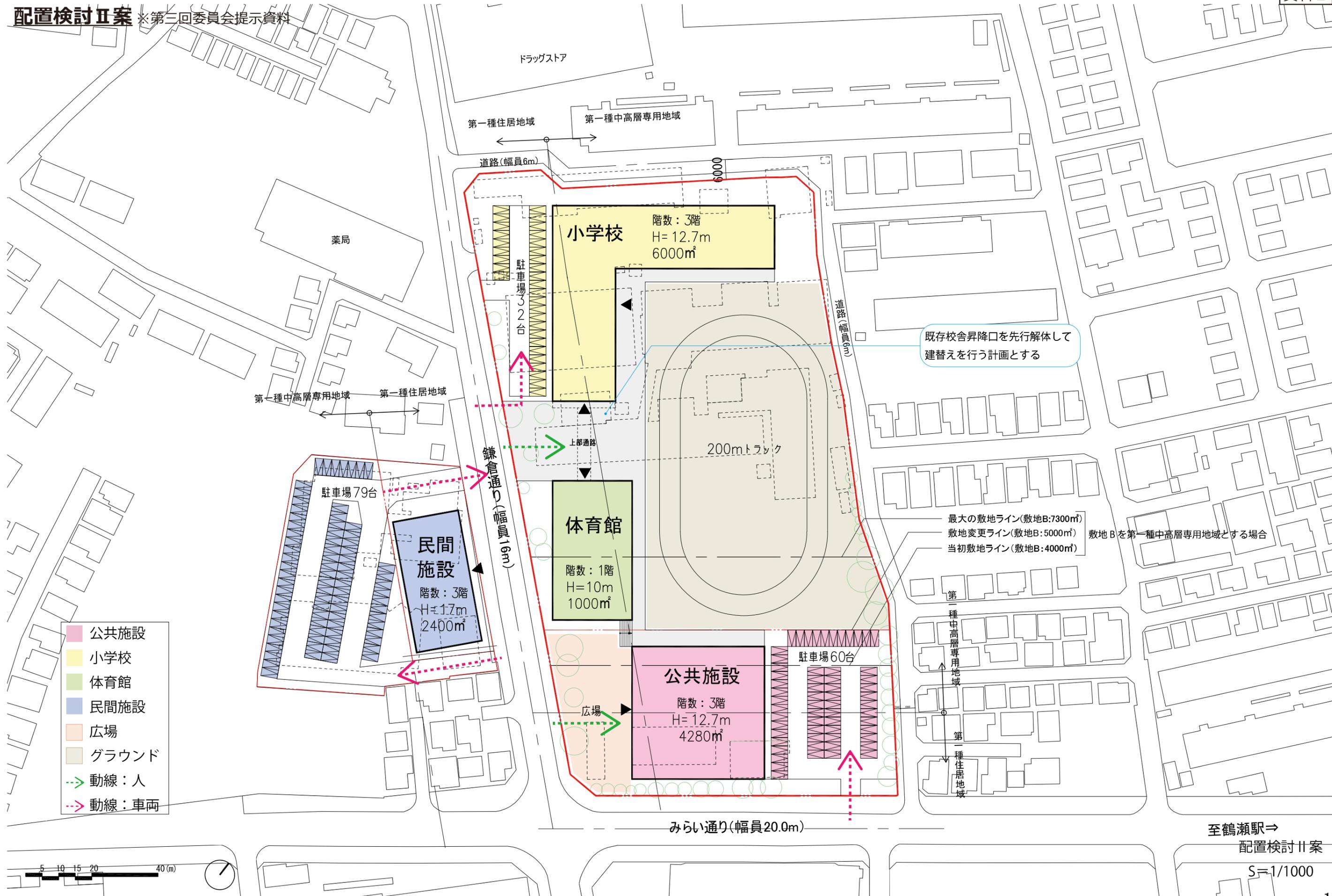


配置検討Ⅱ案 ※第三回委員会提示資料



既存校舎昇降口を先行解体して建替えを行う計画とする

最大の敷地ライン(敷地B:7300㎡)
 敷地変更ライン(敷地B:5000㎡) 敷地Bを第一種中高層専用地域とする場合
 当初敷地ライン(敷地B:4000㎡)

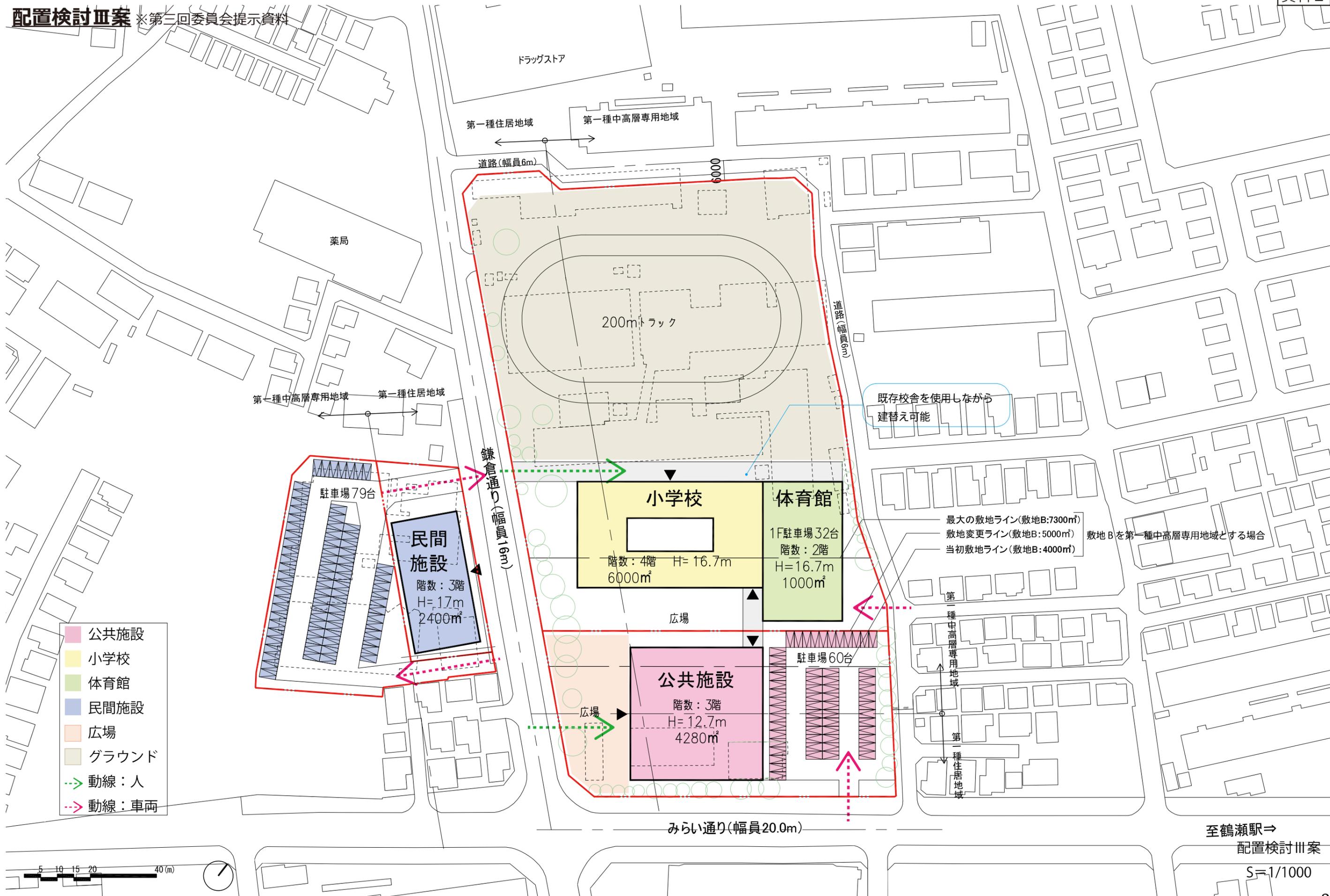
- 公共施設
- 小学校
- 体育館
- 民間施設
- 広場
- グラウンド
- 動線：人
- 動線：車両



至鶴瀬駅→
配置検討Ⅱ案

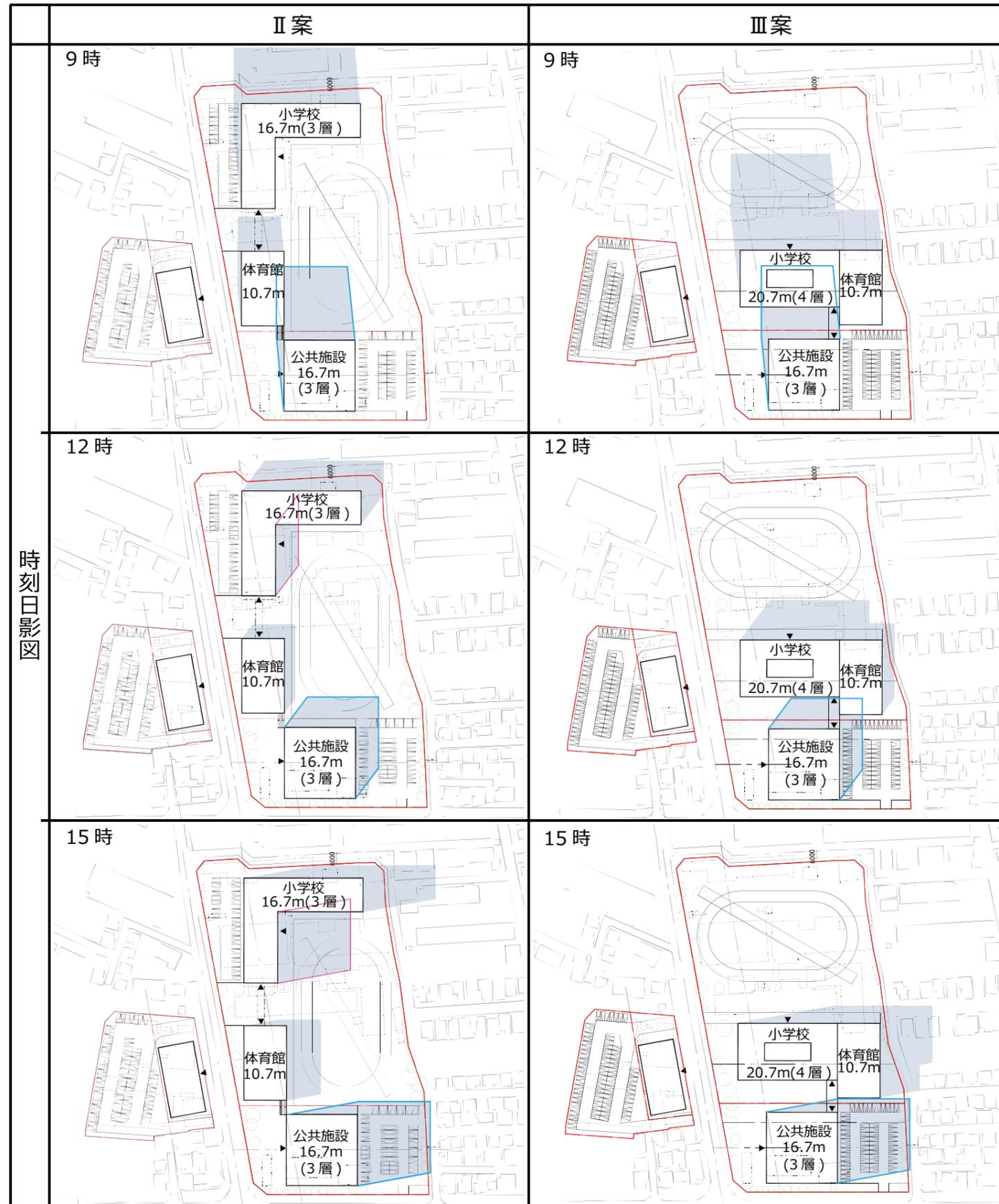
S=1/1000

配置検討Ⅲ案 ※ 第三回委員会提示資料



○グラウンド日照条件の比較（いずれも冬至の地盤面における日影）

※冬至は最も日影条件の悪い日であり、その他の季節では日影の影響は小さくなります。
また、今後の検討により施設を低層化できれば影響は小さくなります。



時刻日影図

※屋上機械置場目隠し、パラペットの高さ含む。

○北側グラウンドの日影による課題と対応策

- ・課題① 降雨後のグラウンドの乾燥が遅れる（土グラウンドの場合）
水たまり等によりその後の授業に支障をきたすことが懸念される。
- ・課題② 冬季には霜があり、湿ったグラウンドが乾かないことが懸念される。
→対応策：グラウンドを人工芝、ゴムチップ、改良土等とすることで
水はけのよい仕様とする。

・ゴムチップグラウンド
豊島区立池袋本町小学校・池袋中学校



・人工芝グラウンド
目黒区立東山小学校



配置検討Ⅲ案 平面モデル検討 ※第四回委員会提示資料



1階平面図 S=1:600

※ブリッジで敷地間をつなげるかどうかについては、今後の行政協議による。

2階平面図 S=1:600

配置検討Ⅲ案 平面モデル検討 ※第四回委員会提示資料

○南西側教室の西日対策

教室窓から外壁面までに距離を取り、外壁面に西日対策を行うことで西日を遮りながら、教室の明るさを担保します。

縦ルーバーは角度の低い西日対策に有効です。

また、面として適度に日差しを遮るデザインを施すことも西日対策に有効とされています。

・PCルーバーによる日射遮蔽



目黒区立東山小学校

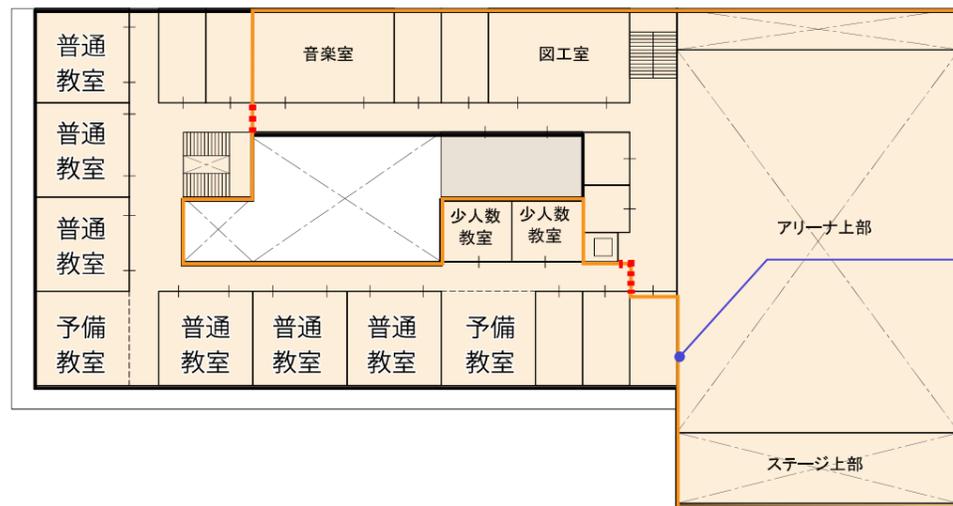
・その他外皮による日射遮蔽



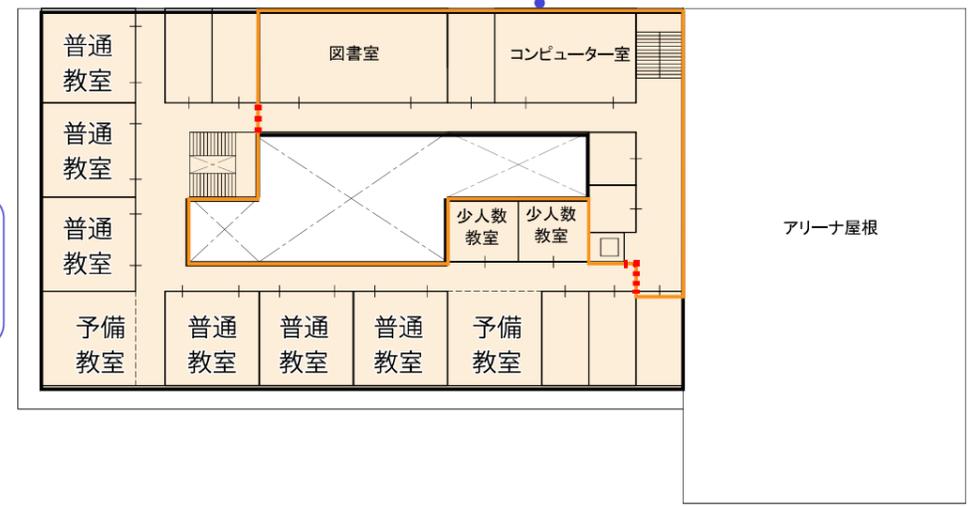
東大谷高等学校泉丘キャンパス

凡例

- 図書館・共用部
- 公民館関連諸室
- 子育て関連諸室
- 事務関連諸室・社協・商工会
- 小学校



.....で管理区画することで
 の範囲を一般開放することが可能。
 ※各階ごとの開放も可能

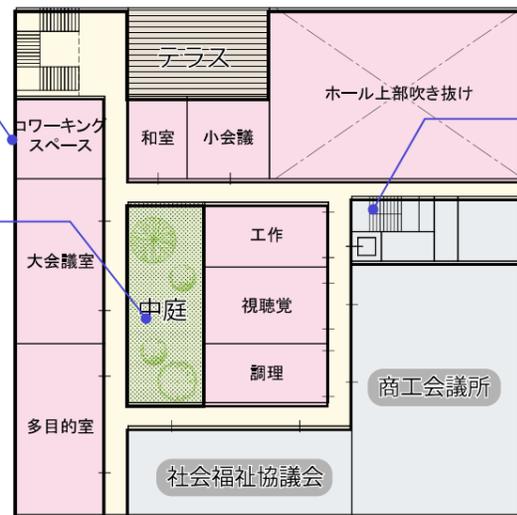


.....で管理区画することで
 の範囲を一般開放することが可能。
 ※各階ごとの開放も可能

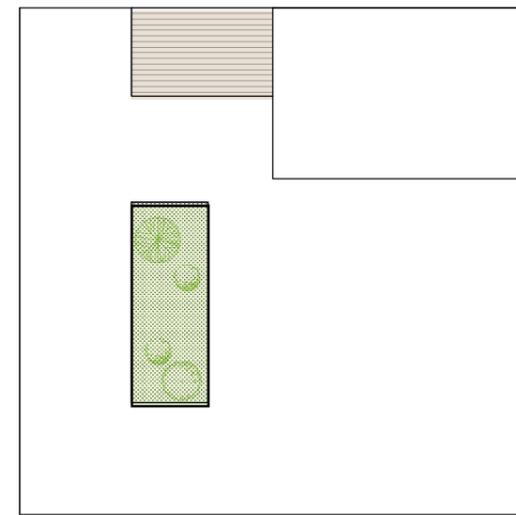
公民館関連諸室を1～2Fに配置することも今後検討

中廊下形式の諸室配置の採光面に配慮した中庭

商工会、社協利用者は、公共施設閉館時には、管理用階段での昇降が可能
 ※商工会、社協利用者と公共施設を区画する配置も可能



3階平面図 S=1:600

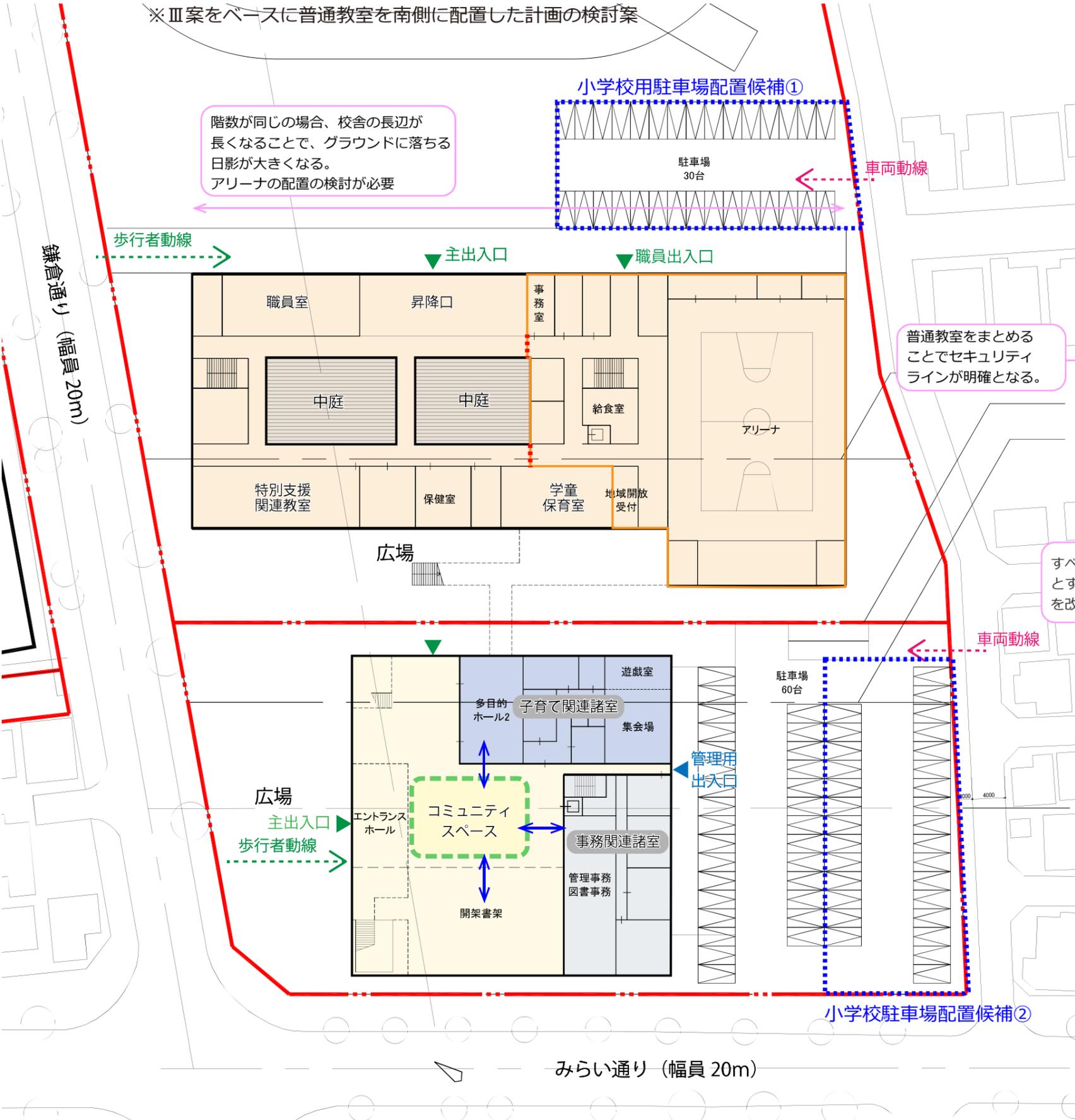


4階平面図 S=1:600

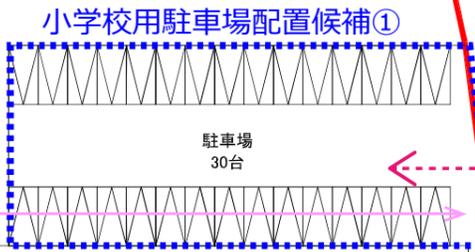


配置検討Ⅲ案 平面モデル検討 普通教室南東向き案

※Ⅲ案をベースに普通教室を南側に配置した計画の検討案



階数が同じの場合、校舎の長辺が長くなることで、グラウンドに落ちる日影が大きくなる。
アリーナの配置の検討が必要



普通教室をまとめることでセキュリティラインが明確となる。

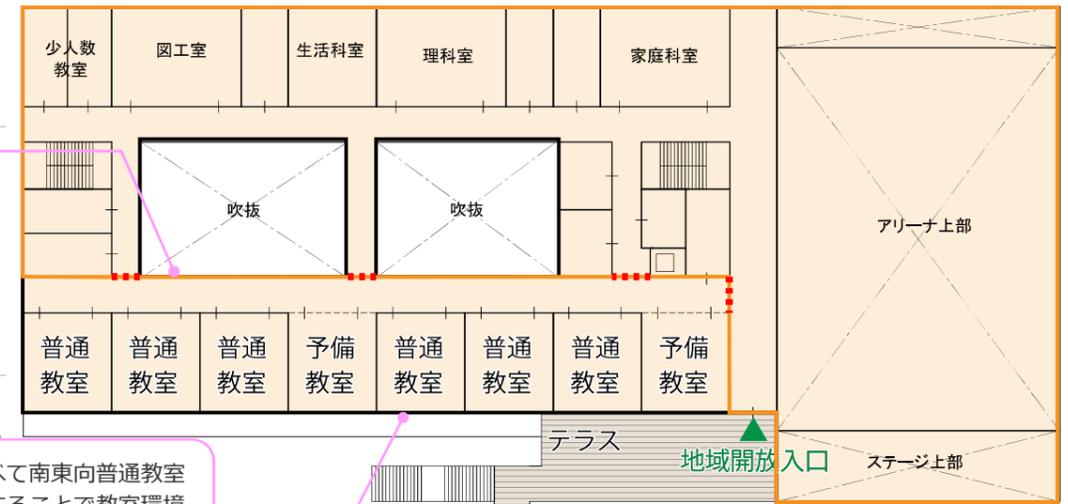
〈駐車場配置案〉

駐車場候補①
体育館北側に配置
ただし、グラウンド面積約250㎡減
トラックと校舎の距離は懸念されるが、トラックの日照条件は有利。

駐車場候補②
西側用地の79台を公共施設用とし、
小学校用駐車場は、公共施設東側とする。

凡例

- 図書館・共用部
- 公民館関連諸室
- 子育て関連諸室
- 事務関連諸室・社協・商工会
- 小学校



すべて南東向普通教室とすることで教室環境を改善。

※ブリッジで敷地間をつなげるかどうかについては、今後の行政協議による。

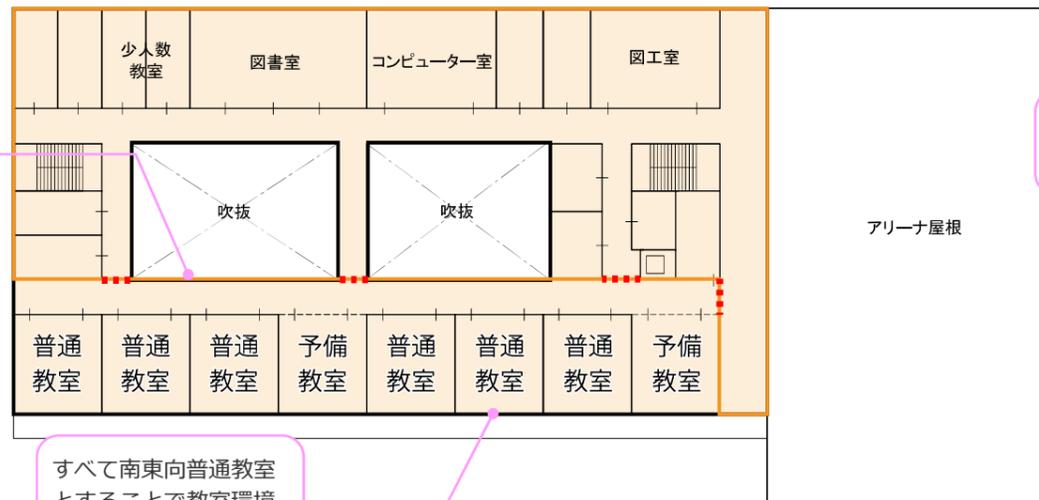
配置検討Ⅲ案 平面モデル検討 普通教室南東向き案

※Ⅲ案をベースに普通教室を南側に配置した計画の検討案

凡例

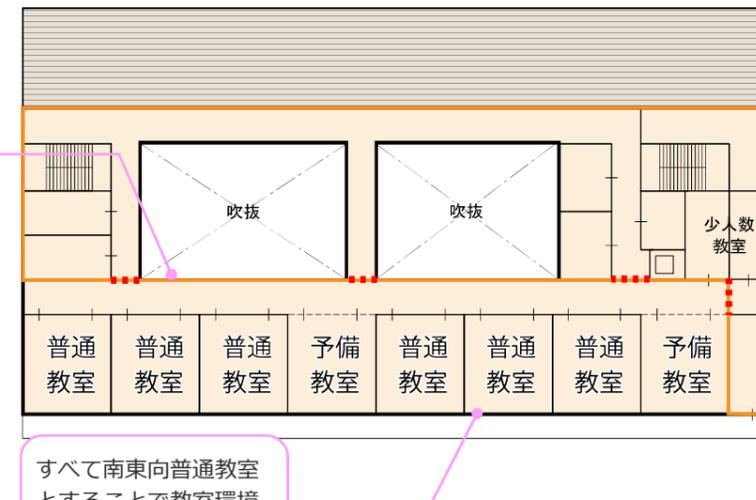
- 図書館・共用部
- 公民館関連諸室
- 子育て関連諸室
- 事務関連諸室・社協・商工会
- 小学校

普通教室をまとめることでセキュリティラインが明確となる。

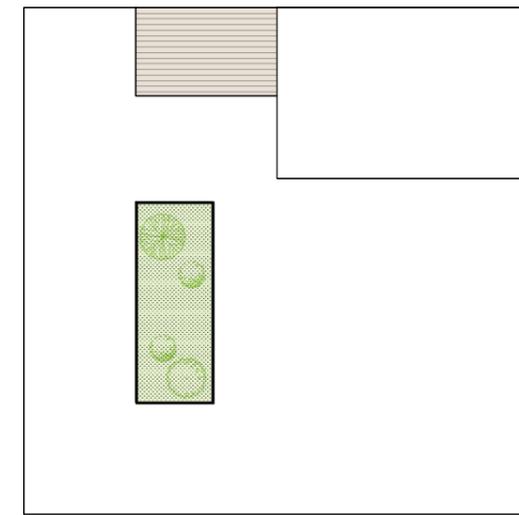
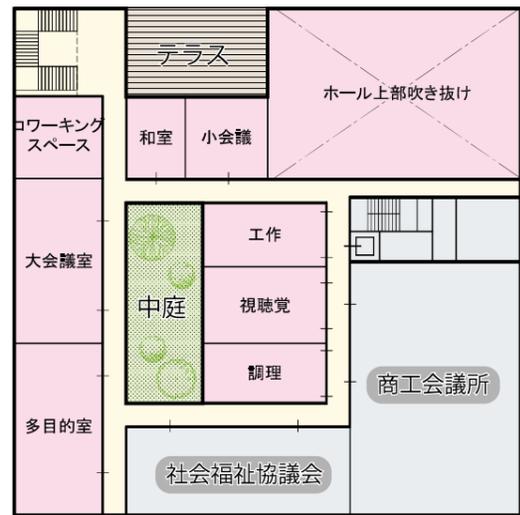


すべて南東向普通教室とすることで教室環境を改善。

普通教室をまとめることでセキュリティラインが明確となる。



すべて南東向普通教室とすることで教室環境を改善。



3階平面図 S=1:600

4階平面図 S=1:600



■コミュニティスペース 参考イメージ

○大和市文化創造拠点シリウス
＜1F：図書館・ホール・ホワイエと

一体的なエントランス＞

1階はエントランス周りに図書館の新刊コーナーとカフェ、それを囲むようにメインホール、サブホール、ギャラリーが配置され、交流の拠点となっている。

＜6F：公民館と隣接した誰でも

利用できる交流スペース＞

予約なしで利用可能な食事、歓談もできる市民のためのスペースとして開放されている。周辺には、大中小の会議室や和室など、公民館系機能が配置されている。



撮影：近代建築社
提供：株式会社 佐藤総合計画
出典：近代建築 2017年8月号



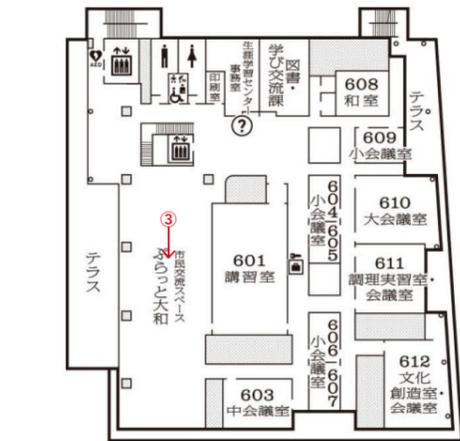
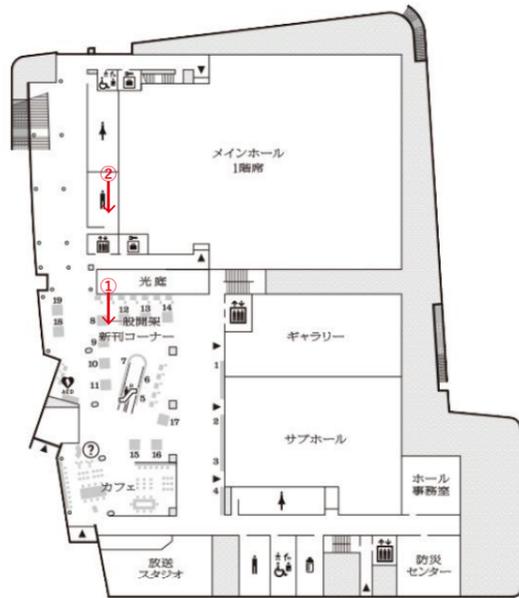
①カフェ・新刊コーナー



②書架と一体となったエントランス



③公民館系諸室に隣接する市民交流スペース



○須賀川市市民交流センター tette
＜1F：カフェ・チャレンジショップの

立体街路状のエントランス＞

1階エントランスはスロープ状の空間、カフェ、オープンなステージ、チャレンジショップなどを配置。エントランスホールで待合わせや発表、経済活動など様々な地域住民の活動を許容するスペースを作っている。

＜2F～：書架に隣接した閲覧、談話スペース＞

2F以上の各階には、書架とともに交流ラウンジが配置されている。図書館内で様々な活動を許容するスペースを確保している。



1F エントランス



4F 交流ラウンジ



1F チャレンジショップ

○塩尻エンパーク

＜イベントや活動にも使える大小様々な

コミュニティスペース＞

1Fはエントランス周辺に3つの大きなスペースを確保し、イベントスペースとしても活用可能なスペースとしている。

2F以上では、幅の広い廊下に、家具を配置することで、会議室等を借りずに、市民活動が行えるフリースペースとしている。



1F エントランス 水のコート イベント開催時



共用廊下壁面を使った囲碁クラブ



フリースペース